

開会挨拶（2024年5月10日）

皆様こんにちは。運輸総合研究所理事長の佐藤です。

本日も、ご多用の中、大変多くの皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございます。第93回運輸政策セミナーの開会に当たり一言申し上げます。

本日は「これからの鉄道沿線における持続可能なまちづくりを考える」と題した2回目のセミナーを一般社団法人日本民営鉄道協会との共催で行いますが、まず、本日のセミナーの源流はどこに在るのか、ご紹介したいと思います。

（それでは、1枚目のスライドをお願いいたします。）

今から20年以上前の2003年5月に、民鉄協の都市鉄道整備問題研究会が「大都市における鉄道整備の将来像～鉄道と都市の活性化に向けた官民連携のあり方について～」と題する提言を行いました。

スライドの右側にある提言の目次をご覧くださいますと、「駅を中心としたサステイナブルな都市構造の実現」という「方向性」が示されています。まさに、20年以上前から「持続可能なまちづくり」が目指されていたのであります。

また、「上下分離方式によるネットワーク整備の支援措置」に関する「提言」は、2005年5月に公布された都市鉄道等利便増進法に繋がりました。

（2枚目のスライドをお願いいたします。）

スライドの右側が都市鉄道整備問題研究会の委員一覧ですが、この研究会は、本日も登壇いただく東急の太田正文さんを中心に民鉄会社の中堅・若手が集ま

ってワイワイ議論するものでした。本日もご登壇いただく阪急の上村正美（まさよし）さんのほか、スライドの左側の検討経過にあるように、国交省鉄道局（実は私も鉄道局鉄道企画室に居て関わっておりました。）、さらには、当研究所の現主席研究員の金山洋一さんや当時の当研究所研究員も議論に加わっていました。

（3枚目のスライドをお願いいたします。）

その後、運輸総研では2020年10月に「新型コロナウイルスが鉄道輸送と都市構造に及ぼす影響に関するシンポジウム」を、2022年5月には「これからの鉄道沿線における持続可能なまちづくりを考える」1回目のセミナーを開催し、本日の2回目のセミナーに至ったわけであります。

（4枚目のスライドをお願いいたします。）

次に、本日のセミナーの進め方ですが、先ほど名前を挙げた太田さん、上村さん、金山さんに加え、JR西日本、相模鉄道、阪神電気鉄道、名古屋鉄道、南海電気鉄道の各鉄道事業者様及び民間都市開発推進機構の渡邊常務理事にご登壇いただき、問題提起、事例紹介、ディスカッション、質疑応答を行います。視聴者の皆様には、ご意見やご質問をどしどしお寄せいただければと思います。

最後に、日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げるとともに、本日のセミナーが、ご参加いただきました多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなることを期待いたしまして、私の冒頭の挨拶といたします。

それでは、登壇者の皆様、視聴者の皆様、どうぞよろしくをお願いいたします。